

第3回デザインアワードの報道

夢実現をサポート

担い手の確保・育成に

子どもたちとふれあい
青年委員会が出版事業
県建設業協会は毎年、建設青年委員会が中心となって、子どもたちとのふれあい事業

幼児・児童向けの土木事業体験イベントを開いた。写真。会場では子どもにショベルカーに乗ってもらったり測量を体験するコーナーを設けたほか、インフラの役割に関するクイ



第2回デザインアワードの受賞者＝金市工

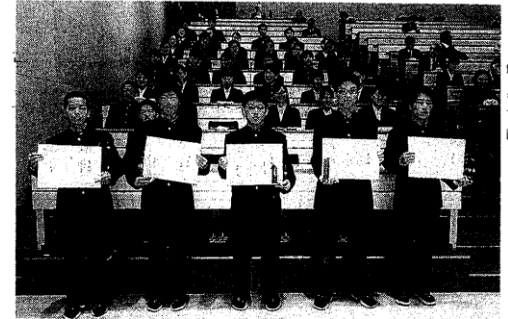
金沢建設業協会（平櫻保会長）は、金沢市立工業高校の生徒を対象にデザインアワードを実施している。ものづくりの楽しさ、素晴らしさ、難しさや大切さを感じてもらうことも、自分が設計した作品への思い、考え方を第三者に伝える機会として一昨年から実施されている。昨年の第2回では、内灘町の白帆台ニュータウンに建設する木造公営住宅（木造1棟2戸の長屋住宅）を課題に、子育て世帯、高齢者世帯が安心して利用できる公営住宅を設計してもらい、建築科3年生38名が参加した。その結果、受賞作品はどれも課題を難なくクリアし、レベルの高い作品ばかりとなった。若い人の柔軟な発想が、今後の建設産業界を活性化させることが期待される。

ものづくりの楽しさ経験 金沢建設業協会デザインアワード

意見交換会も

申請書等は27日まで
能登ARRR設備設置

整備に必要な設備の設置を行う。工期は3月25日まで。



受賞した5名の生徒＝16日、金沢市立工

最優秀賞は宮村武蔵さん

金沢建設業協会デザインアワード

市立工の生徒が設計

金沢建設業協会（平櫻保会長）は16日、第3回デザインアワードの表彰式を金沢市の金沢市立工業高校で行い、同校建築科3年生の宮村武蔵さんが最優秀賞を受賞するなど5名の受賞者が表彰された。

デザインアワードは、金沢市立工業高校の生徒を対象に、「ものづくり」の楽しさ、素晴らしさ、難しさや大切さを感じてもらうこと。また、自分が設計した作品への思いや考え方を第三者に伝える機会の提供の場として行われているもの。

今回は、児童公園内に建設する公衆トイレを課題に、木造、平屋建て、男女の区分けは特に必要としないという設計条件のもと、デザインを募り、プレゼンテーション、審査を経て受賞者が決定した。

表彰式では、平櫻会長が「作品のレベルが高く、点数を付けるのに苦労した。建築の仕事の中には設計を含め様々な分野があるが、今回の結果にかかわらず、皆さんの好きな、得意なジャンルに、これからは邁進していただきたい」とあいさつ。続いて受賞者の表彰が行われ、受賞者の一人一人が「先生方や仲間へ感謝したい」などと喜びの言